

紀の國建設に認定書

道労働局 えるぼし認定企業



道労働局は21日、札幌第一合同庁舎でえるぼし認定企業が紀の國建設(函館)の企業認定通知書交付式を、紀國隆三社長に認定通知書を手渡し、今後の取組推進に期待を寄せた。

えるぼし認定は、企業が行動計画を策定・申請し、女性の活躍に関する状況が優良であるなどの要件を満たした場合に受けることができるもの。採用、継続就業、労働時間等の働き方、管理職比率

認定通知書を手にする紀國社長(左)

多様なキャリアコースで評価する。

同社は、道内の建設業で

初めてえるぼし企業に認定。全ての評価基準を満たし、最高位の3段階目の認定を獲得した。

同社は、24人の従業員のうち8人が女性。さらに、管理職7人のうち女性管理職が技術部門と事務部門に各1人となっており、多くの女性が活躍している。当日は、友藤局長が認定通知書を授与し、働き方改革のさらなる推進を要請。多様な働き方ができる職場環境づくりの推進も呼びかけ、同社の今後の活動に期待を寄せた。

交付式終了後の談話で紀國社長は、今回の受賞を喜ぶとともに、紀國隆三専務も「社員全員が働きやすい環境づくりに励んできた中で、えるぼし認定の基準を満たすこととなった」とこれまでの取組を振り返った。その上で「今後は、道内第一号となるプラチナえるぼし認定の取得を目指したい」と話した。